



五穀豊穡を祈願する、
素朴で勇壮な伝統芸能。

いちき串木野市の大里地区で毎年行われる「七夕踊」は、踊りというよりは野外劇とも言えるユニークな祭りで、「つくいもん」と呼ばれる張り子の動物たちが次々と姿を現し、琉球王、大名薙刀なまだなどの行列や太鼓踊りが続く、総勢700名、約150メートルに及ぶ壮大なパレードです。

宇都集落のシカを先頭に、島内集落のトラ、弘山・松原集落などのウシ、門前集落のツルなど、全長5〜6メートルの「つくいもん」の後ろには、鉄砲を撃つ狩人、角を振りかざして反撃するシカも登場。傍らでは槍の男たちが、どう猛なトラから必死で逃げ惑って



本踊りとなる「太鼓踊」は、かね・入れ鼓・平太鼓からなり、全員が花笠をかぶる。踊りは古風で荘厳な雰囲気があり、賑やかな造り物の行列とは対照的。

います。

勇壮で華麗、しかもユーモラスなパフォーマンスに、沿道からは拍手と笑い声が尽きません。

約400年の歴史をもつ七夕踊は、昭和56年(1981年)には国の重要無形民俗文化財に指定されました。その由来は、島津義弘公の朝鮮の役の活躍を讃えたことに始まると伝えられ、厳しい戒律のもとで、地域の人々の手で大切に守り続けられています。



【いちき串木野市】

市来の七夕踊

国指定重要無形民俗文化財

鹿児島に古くから伝わる地域の祭りや伝統行事。
今回はいちき串木野市で行われる、「市来の七夕踊」をご紹介します。



.....【祭りの舞台】..... 大里地域一帯

開催日： 8月5日から11日までの日曜日
七夕踊は時間によって場所が変わります(要事前確認)

住所： いちき串木野市大里

交通： JR市来駅から車で3分。または南九州西回り自動車道市来ICから車で約1分。
または鹿児島交通バス 島内下車徒歩1分。

駐車場： なし ※可能な限り、公共交通機関をご利用ください。

TEL： 0996-32-3111(いちき串木野市教育委員会社会教育部)